

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日： 令和7年11月11日

事業所名：こばんはうさくら 豊田西岡教室

対象人数（保護者） 15人 回答者数 15人 回収 100%

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15				他より広いように感じます。	クールダウンできるスペースも確保できるようにする。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		1	多いと思います。	継続してスタッフの確保に努めていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15				段差などもなく、部屋の名前もわかりやすく掲示されていてわかりやすい。	お子様にわかりやすいように工夫している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				清潔感があり、きれいです。	今後も継続して行っていく。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1			子どもにあわせて支援してくれていると思います。	お子様の特性を理解した上での療育を心がける。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15				毎月楽しそうなプログラムが行われている。	5領域を意識して、子どもの課題を考えてプログラムを考えていく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				面談のときにしっかりとお話を聞いてくれます。	最低でも6ヶ月に1度、モニタリングを行い、comilのアセスメントシートなども用いて、個別支援計画書を作成している。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15				面談の際に詳しく説明してくれています。	個々に合わせた適切な支援内容を設定し、面談時に保護者様への説明を行っている。
保護者への説明等	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14			1	実際に見ていないので分からない。	日々の連絡帳、活動記録などから支援内容がしっかりと伝わるように工夫する。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15				連絡帳を見ていると、同じ活動テーマでも都度内容を変えて行ってくれています。	お子様が飽きずに活動を楽しんでくれるよう今後もプログラムを考えていく。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	5	4	ないと思います。	今後交流機会を設けていけるよう地域の施設との連携を取る。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15				契約時に説明を受けました。	契約の際に説明を行っている。
非常時等の対応	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15				されていたと思います。	契約の際に説明を行っている。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12		1	2	てらこばカフェに参加させていただきました。	今後も定期的に家族参加イベントを開催していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	15				連絡帳や送迎時のお話で様子を確認できています。	連絡帳などを通してお子様の状況が伝わるよう今後も心がけていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15				以前相談に答えていただきました。	定期的な面談、また必要に応じてご相談等の機会を設けている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				いつも丁寧に対応してくださっています。	朝礼や申し送りなどで当日の支援内容を共有し、適切な支援ができるようにしている。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	4	1	3	きょうだいへの支援はないと思います。	保護者同士の交流機会は設けている。きょうだい同士の交流などは今後検討していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15				公式LINEから気軽にできるのでありがたいです。	電話でのお話や公式LINEなどから対応している。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1			されていると思います。	活動記録での発信や、公式LINEでの対応を行っている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	1			ハグから見せていただいています。	公式LINEや、ハグシステムでの活動記録で、毎日のプログラムの内容や日々の様子を発信している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15				個人情報を守られていると思います。	個人情報保護法に関する研修などで、職員間で周知を徹底している。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12			3	活動に訓練のプログラムがありました。	職員研修やプログラムで訓練を取り入れている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			6	避難訓練のプログラムの日がありました。	職員研修やプログラムで訓練を取り入れている。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1		2	安全確保はされていると思います。	必要に応じた職員を配置し、安全対策をおこなっている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した原の状況等について説明がされていると思いますか。	12			3	子ども同士のちょっとしたトラブルも細かく説明してくれています。	なにかあった場合は迅速に連絡し、適切な対応、説明に努めている。
	27	満足度	27				不安定なときもあるが、楽しく通所してくれている。	今後もお子様が安心して通える環境、支援を提供していく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15				こばんと言うと喜んで準備している。	今後もお子様が安心して通える環境、支援を提供していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				基本的に満足しています。	今後もお子様に合わせた支援を計画し、行っていく。

公表:令和 7年 11月11日

事業所名 こばんはうすさくら豊田西岡教室

(職員数) 15人 (回収) 15人 (回収率) 100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	0	放デイと児発で部屋が分かれており、適切なスペースがある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	1	専門職の職員も配置されており適切である 足りないと感じるときもある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	0	トイレなどバリアフリー化されている。またカームダウンエリア等の場所もあり環境上の配慮もしっかりとできている 適切な環境整備がされている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0	季節の気温に合わせて適切な室内温度を保つことや、感染症対策として空気清浄機なども置いてある。また子どもたちの活動に合わせた空間作りを行っている。日頃から清掃しており、清潔である。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	0	カームダウンエリアとして、さまざまな部屋もあり、必要に応じて使用している。 状況に合わせて個室を使っている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	1	把握出来ていない所あり。 業務の効率化、改善を図るために職員は取り組んでいる。また広く職員が参画できるよう努めている。 職員間で計画、振り返りを行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	2	保護者の方との接点がなく、わからない。 保護者様のご意見は職員間で周知し療育に努めている。 保護者アンケートを行っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	2	意見交換の時間なく、個人的に意見を聞く事がある。 定期的に面談等もあり業務改善等につなげられている。 面談や意見箱を設けている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	5	まだわかりません。 外部評価を行い事業所をより良く療育に努められるように努力している。 SVなどの訪問がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	さまざまな研修の機会がある。また研修内容も周知している。 定期的な研修機会がある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0	カンファレンスも行うなどしっかりと作成し、公表もしている。 子供に合わせたプログラム作成がされている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	0	アセスメントやモニタリングを定期的に行い、計画を作成している。 適切なアセスメントを行っている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	カンファレンスもしっかりと行い検討が行われている。 職員間で情報共有しながら計画案を作成している。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	1	時間のない時は難しい時もある。 全職員間で共有し、支援前にも確認している。 計画に沿った支援を行っている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	0	フォーマルなアセスメント、インフォーマルなアセスメントともに確認し療育している。 確認している。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0	モニタリングを通じて得た情報をや相談支援員などから、話を伺い、支援内容を設定している。 しっかりとアセスメントやモニタリングを行なった上で支援内容が設定されている。 上記項目を踏まえながら適切な支援内容を設定している。
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	協力依頼があれば、参加する。 朝礼やカンファレンスを行いチームで行なっている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0	さまざまな職員が取り組み、固定化しないように工夫している。 同じ活動を行わないよう工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	1	子どもの状況に合わせ、5領域も考慮した上で個別、集団活動等組み合わせた計画の作成が行われており、また周知した中療育に努めている。 子どもの状況を共有しながら計画作成、支援を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	1	毎朝行なっており、全職員への周知も行なっている。 どのような支援を行うか打ち合わせをしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	1	それぞれ気になった事がある時は共有できているが特に打ち合わせの時間は設けていない。 出勤時、説明を受ける。 振り返りを行い相談できる環境も整っている。また振り返りシートも行い業務改善につなげている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	2	記録は日々徹底してとっている。また前体での周知も行なっている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	しっかりと定期的なモニタリングを行なっている。また必要に応じて見直しも行なっている。 半年に1回行っている。

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	0	日々子どもと接している職員が参画している。 児発管が参加している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	1	わかりません。 学校や相談支援専門員の職員等、関係機関と連携して支援を行なっている。 提携の医療機関がある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	1	わかりません。 インクルージョン推進の観点から支援を行なっている。また情報共有に努め相互理解を図っている。 共有できている施設もあるが、ないところもある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	2	わかりません。 情報共有、連携を図っている。 小学校との共有はあまりできていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。	15	0	わかりません。 スーパーバイザーから助言を受ける機会がある。 研修に行く機会がある。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	12	3	わかりません まだありません。 外出活動など、地域の中で他のこどもと関わり合う機会がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	共通理解を持てるように、細かな情報共有など行なっている。 送迎時や面談で伝えている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	1	わかりません。 保護者同士が集まる機会もあり情報提供や情報会が行われている。 保護者が参加できるイベントがある。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	丁寧な説明に努めている 契約時に行っている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	子どもや保護者の意向を確認する機会は設けられており、それに基づいて計画が作成されている。 面談にて確認している。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	1	丁寧な説明を行い、同意を得ている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	1	わかりません。 行なっている。 相談があった際には適切に対応している。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	1	解らない。 保護者会(てらこばカフェ)を行っている。 定期的に交流の場が設けられている。 保護者同士の交流機会を設けている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	1	わかりません。 迅速に対応し、適切に対応するように努めている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	1	インスタグラムなど時代に合わせた発信を行なっている。 活動記録を配信している。
	42	個人情報情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	日々留意して療育に努めている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	意思の疎通をしっかりと行い、情報伝達の配慮をしている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	5	保護者様の意志に従う 希望があれば今後検討していきたい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	1	まだ参加していません。 定期的に訓練を行い、マニュアルも周知している。 常に掲示し、訓練も行っている。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	1	まだ参加していません。 定期的に行っている。 定期的な見直しも行いながら訓練も行なっている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	1	インテーク、アセスメント時に確認している。変更があれば、ご相談より連絡をいただけるようお願いしている。 学校等とも連携しながら情報共有している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	1	アレルギーのあるお子様については特定の食べ物を提供していない。また保護者からの連絡により周知している。 母親と共用している
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	1	研修、訓練を行い、支援を行っている。 わかりません。 安全管理を意識した中、日々の療育に努めている。 安全計画を作成した上で適切な支援を行っている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	3	わかりません。 内容については周知していると思う。連携が取れるように体制は整っている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	2	ヒヤリハットの事例をみていない。 対応策の共有を行い、再発防止に努めている。 ヒヤリハットがあった際は記録し、共有している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	2	研修に参加していないので、わからない。 研修を行い、虐待ない支援を徹底している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか。	13	2	参加していないので、わからない。 記載されている。